

パナマ内政・外交（２０２１年１１月定期報告）

【ポイント】

- ２４日より、パナマ政府はワクチン３回目接種の対象者を１８歳以上の者とする
と発表した。
- ２４日、下級普通裁判所は、マルティネリ元大統領の盗聴容疑に関し、同元大
統領が盗聴を指示したとする証拠は不十分であるとして、無罪とする判決文を言
い渡した。
- １日及び２日、コルティソ大統領は、第２６回気候変動枠組条約締約国会議
（ＣＯＰ２６）出席のため、英国を訪問した。
- コルティソ大統領の英国訪問に同行したモイネス外相は、英太平洋・環境大臣
及びカストロFAO事務局長等との会談の他、海洋保護フォーラム等に出席した。
- ８日、パナマ政府は、７日のニカラグアの大統領選挙において、自由参加、公
正及び透明性等の必要最低限の要件が保証されなかったとして、遺憾の意を表明
した。
- １５日から１８日、ミラー米税関・国境保護局コミッショナーを代表とする米
代表団がパナマを訪問し、モイネス外相と会談した。
- ２３日、モイネス外相は、パナマを訪問したヒル・エルサルバドル外相と第３
回二国間委員会会合を実施した。
- ２６日、モイネス外相はイベロアメリカ外相会合出席のため、ドミニカ共和国
を訪問した。
- ３０日、パナマ政府は、ウズベキスタン共和国との外交関係樹立を発表した。
- ８日、マルティネリ元大統領の長男リカルド氏が、オデブレヒト社への賄賂に
かかるマネロン疑惑における米国への引渡し要求を受諾した。１５日、弟のルイ
ス氏は同様の容疑で、グアテマラから米国に引き渡された。

【本文】

●内政

１ 新型コロナウイルス関連

（１）ワクチンの到着

１１月、ファイザー・ビオンテック社（以下、ファイザー社）との直接契約分
のワクチン８０万４,９６０ドースの他、COVAXの枠組みによるファイザー社ワクチン１
９万８,９００ドースがパナマに到着した。（本年１月から１１月末までの到着合計
数：ファイザー社：７７０万６,７９０ドース、アストラゼネカ社：１２８万６,４００ド
ース）。なお、１１月末までに、６０３万１,１６４ドースのワクチン接種（ファイザー社
及びアストラゼネカ社）が実施された。

(2) 18歳以上へのワクチン3回目接種の開始

(当館注：パナマ政府は、9月22日よりワクチン3回目接種の開始を発表し、段階的に対象者を拡大してきていたが)、23日、スクレ保健大臣は、コルティソ大統領が同月24日より、ワクチン3回目接種の対象者を18歳以上の者とする旨承認したと発表した。

2 マルティネリ元大統領の盗聴容疑にかかる2度目の無罪判決の確定

2021年6月より、再審が開始されたマルティネリ元大統領の盗聴容疑に関する裁判につき、11月24日、下級普通裁判所の判事3名は満場一致で無罪判決を確定し、同元大統領が盗聴を指示したとする証拠は不十分であるとする判決文を言い渡した。

●外交

1 コルティソ大統領のCOP26出席にかかる英国訪問

(1) 1日及び2日、コルティソ大統領及び同夫人は、第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)出席のため、英国(グラスゴー)を訪問した。なお、同訪問には、モイネス外相及びコンセプション環境大臣等も同行した。

(2) 1日、コルティソ大統領は、キャニングハウスにおける基調講演の他、COP26全体会合において演説を行った。

(3) 2日、同大統領は、アルバラード・コスタリカ大統領、ドゥケ・コロンビア大統領及びラッソ・エクアドル大統領と「東部太平洋地域の海洋回廊生態系保全に関する共同宣言」に署名した。同2日、パナマ政府は、COP26において、2030年までに森林破壊停止にかかる協定(100カ国以上が署名)及び2030年までにメタンガス排出量30%削減にかかる協定(80か国が署名)に署名した他、コルティソ大統領は、カーボンネガティブ3カ国(パナマ、ブータン、スリナム)の外相間で署名された「カーボンネガティブ国宣言」の署名式に同席した。

(4) コルティソ大統領の英国訪問に同行したモイネス外相は、ザック・ゴールドスミス(Zac Goldsmith)英太平洋・環境大臣及びカストロFAO事務局長等との会談の他、海洋保護フォーラムに出席するとともに、パナマ観光庁及び国連世界観光機関等との協定への署名式に参加した。

2 ニカラグア大統領選挙に関するパナマ政府の立場表明

8日、パナマ外務省は、7日のニカラグアの大統領選挙に関し、パナマ政府は、法の支配及び民主主義の保護並びに人権及び表現の自由の尊重と推進から、ニカラグアで7日に実施された大統領選挙において自由参加、公正、透明性及び

包括性を有する選挙を実施するための必要最低限の要件が保証されなかったことに遺憾の意を表するとする立場を表明した。

3 不法移民問題にかかる米代表団のパナマ訪問

(1) 15日から18日、トロイ・ミラー(Troy Miller)米税関・国境保護局コミッショナーを代表とする米代表団がパナマを訪問した。

(2) 16日、ミラー米税関国境保護局コミッショナーは、中米地域の移民当局関係者との会合の枠組みにおいて、モイネス外相と会談を行った中で、コロンビア国境のダリエンを通過し、米国へ向かう不法移民問題におけるパナマの課題につき協議するとともに、移民の取引にかかる犯罪網の解体に向けた対応や、同問題にかかる戦略の強化につき、協議した。なお、同代表団は、ピノ治安大臣及びゴサイン移民局長とも会談した。

4 エルサルバドル外相のパナマ訪問

(1) 23日、モイネス外相は、パナマを訪問したアレクサンドラ・ヒル(Alexandra Hill)エルサルバドル外相と第3回二国間委員会会合を実施した。

(2) 両外相は、同会合において、共通の関心事項である政治問題、二国間の経済・貿易関係及び教育・文化・観光開発に関する協力並びに科学技術協力合同委員会の将来的な創設等につき、常設的な意見交換を可能とする文書に署名した。他、ポストパンデミックの経済回復の文脈において、観光に焦点を当てた二国間の貿易及び投資関係を強化につき合意し、不法移民問題及びジェンダー平等等についても協議した。なお、モイネス外相は、パナマが2022年第1四半期にSICA議長国を務めるにあたるヒル・エルサル外相による支持に、感謝の意を表明した。

5 モイネス外相のイペロアメリカ外相会合への出席

26日、モイネス外相は、イペロアメリカ外相会合出席のため、ドミニカ共和国を訪問した。同会合では、新たなイペロアメリカ事務局長として、アラマン・チリ外相が選出されるとともに、出席した22か国全ての閣僚の全会一致で、初の外相宣言が署名された。

6 ウズベキスタン共和国との外交関係樹立

30日、パナマ政府は、ウズベキスタン共和国との外交関係樹立を発表した。ウズベキスタンとの外交関係樹立にかかる共同プレスリリースは、NY国連本部において、両国の常任代表であるマルコバ・コンセプション・ハラミージョ駐国連代パナマ大使とBakhtiyor Ibragimov駐国連代ウズベキスタン大使との間で署名が行われた。なお、パナマは現在、156か国と外交関係を樹立しており、コ

ルティソ現政権下では、ケニア共和国、カーボベルデ共和国、ラオス人民民主共和国、キルギス共和国及びウズベキスタン共和国の5か国との外交関係を樹立した。

7 マルティネリ元大統領子息のグアテマラから米国への引渡し

(1) 8日、グアテマラの刑務所に収監中のマルティネリ元大統領の長男リカルド・アルベルト・マルティネリ氏（以下、リカルド氏）が、オデブレヒト社への賄賂にかかるマネロン疑惑における米国への引渡し要求を受諾した。

(2) 15日、本年5月、すでにグアテマラ第5刑事裁判所より米国への引渡しに命じられていた弟のルイス・エンリケ・マルティネリ氏（以下、ルイス氏）は、グアテマラから米国に引き渡された。

(3) マルティネリ元大統領の子息両名は、2020年7月6日、プライベートジェット機でグアテマラからパナマへ帰国しようとしていたところ、グアテマラの空港にて逮捕され、マリスカル・サバラ軍刑務所に拘禁されていた。

(4) NY州東部地区地方検察庁によれば、マルティネリ兄弟は、伯オデブレヒト社から受け取ったとされる合計2,900万米ドルの内、約1,900万米ドルを米国の銀行口座に送金した容疑で起訴されている。（当館注：なお、12月10日、リカルド氏も、グアテマラから米国に引き渡された。）

（了）